

**森本** その後、船舶での修学旅行が解禁されて、先ほども言ったように1つ上の学年から九州へ行くようになりました。

**関貫** 遠足はありましたか。どこかへ行った覚えはありませんか。

**森本** 南海丸が小学校の時に沈みまして、それを引き上げて鳴門丸となり、立江中学校が全学年で貸し切って小松島港から乗ってみさき公園に行ったと思います。ただ、その時船がたいへんゆれて300人くらいが乗っていましたが、体調を崩した人も多く船内ではたいへんな状況であった記憶があります。

**仁木** 広い海に浮かんでいる船に乗っていく楽しみは格別のものがあったように思います。

**稲田** 行事といえば櫛淵方面の山へ木を切りに行ったことを覚えています。皆さんはどうですか。たき物用の薪を切ってリヤカーで引いていったことがあります。私は生徒会長をしていたので先頭をきって活動をしていたせいか鮮明に覚えています。皆さんにあまり覚えがないようならその年だけであったのかも知れませんね。

**森本** 突然の出来事なんですけどこんなことがありました。実は県外の出張先で教頭先生がお亡くなりになられたんですよ。南海汽船で教頭先生のご遺体が戻られて、立江中学生全員が自転車で港へ行って、急遽つくった鼓笛隊で葬送行進曲を演奏しました。そして体育館に多くのお坊さんに来てもらって学校葬を行ったことがありました。

**関貫** 過去の資料や写真を整理していてわかったんですが、確か出張に行かれていてお亡くなりになったようです。その時の学校葬の記録も残っています。校門までお見送りをしている写真もあります。

**森本** 古い校舎では3年生のA組～D組の教室があり、B組とC組の間の壁がなくて現代のアコーディオンカーテンのようなもので仕切っていたこともありました。ですから隣の先生の声がすぐ聞こえました。この広い教室は、まだ体育館がなかった時に卒業式などをしていた講堂のようなものであったのかも知れませんね。

**関貫** 体育館兼講堂が昭和29年5月にできているんですが、記憶はございませんか。

**稲田** 私たちの時には木造の体育館ができていて、先ほども言ったように校舎と体育館の間にテニスコートがありました。

**仁木** そういえば昔の机といえば木材であり、机と

椅子がひっついているものでした。

**関貫** 最後に閉校への想いと新中学校への期待についてお聞かせいただけたらと思います。

**森本** 統合するのを機会に生活圏が変わることになります。例えば今までは中学校に近かった子が、遠くなったりもします。時代とともに生活の変化があるというのを、この統合を機に感じます。それと坂野中学校と一緒になるわけですが、私たちの時は坂野中学校に対するライバル意識がありましたが、これからは力を合わせて、小松島中学校とのライバル関係で頑張ってもらいたいと思います。

**稲田** 立江中学校は、今は生徒数が少なくでどちらかというと大人しい生徒さんが多く、新中学校では生徒同士がなじんで勉学に励んでいけるかという不安はありますが、将来的に考えると高校や大学を卒業したら社会に出るのであり、社会の荒波に出る前に坂野中学校との統合の中で、経験やコミュニケーションを積み重ねながら乗り越えて頑張ってもらいたいと思います。

**喜田** 自分たちの子どもは3人いましたが、櫛淵小学校では10名程度のクラスであって、そのような中で競争意識が少なく、固定化されたところもあったように思います。それが立江中学校へ入学することで大人数の中で鍛えられ良い経験ができたと思っています。今回の統合は不安もあると思いますが、それぞれが環境に順応していくだろうとも思います。多くの人数がいる中で切磋琢磨して競争していくことで、広い社会が体験できると思います。戸惑いもあるでしょうが、また一段と大きくなっていくことを期待したいと思います。

**仁木** それぞれの小学校教育で培われたものをしっかり持ち、新中学校の大きな集団の中で自分を見つめ高めるために切磋琢磨してほしいと思います。それと新しい中学校の校風づくりに先生と生徒がひと

